

六方礼拝の教え

令和四年五月法話 薬師寺管主 加藤朝胤

尸迦羅越六方礼経（しからおつろつぼうらいきよう）後漢安世高譯（く一七〇頃）
王舎城竹林精舎 尸迦羅越（しからおつ） 浸迦羅（しんがーら） 富豪の息子

四業垢を離れる

- ① 殺生
- ② 偷盗
- ③ 邪淫
- ④ 妄語

四惡処を離れる

- ① 貪欲
- ② 瞋恚
- ③ 愚痴
- ④ 怖畏

欲と瞋りと怖畏と愚痴とに依りて、法を犯す者は、その人の誉れが日々消える。月の黒分に於けるが如し。欲と瞋りと怖畏と愚痴とに依りて、法を犯さざる者は、その人の誉れが日々にいや増す。月の白分に於けるが如し。

六惡業を離れる

- ① 酒を飲んで放逸する禍 富の消耗 喧嘩口論 病氣 不評判
- イライラして怒りやすい 智慧が衰える

- ② 時を外れて街を彷徨する禍 危険に遭遇 妻子を護らない
- 財産を護らない 悪所で怖れに覆われる 嘘をつく
- 苦しみが纏わる

- ③ 歌舞や祭礼に遊び廻る禍 舞は何処 歌は何処 音曲は何処
- 講談は何処 鼓は何処 太鼓は何処

- ④ 賭博に耽る禍 勝者に怒りを起すし負けて悲しむ
- 財産をすり減らす 裁廷に立つて語れず 朋友に蔑まれる
- 婚姻に望みなく 妻子を養えない

- ⑤ 悪友と交わる禍 賭博者 泥酔者 強欲者 虚偽者
- 瞞着者 残忍者 と友となり仲間となる

- ⑥ 懶惰る禍 暑い 寒い 遅い 早い 空腹 満腹
- と云って仕事をしない

悪友（あくゆ）

- ① 貪欲な人
- ② 言葉巧みな人
- ③ 諛う人
- ④ 浪費する人

親友（しんぬ）

- ① 真に助けとなる友
- ② 苦楽を共にする友
- ③ 忠言を惜しまない友
- ④ 同情のある友

賢い人は行い正しく日の光のように輝くのである。蜂のように勤めて富を集め、蟻のように怠らず富を積み、その富の十分の四を散じて善き友と交わり、十分の一にて活計（くらし）をなし、十分の二にて業を営み、残りは積んで不時の災に備えるが善い。

六方

東 父母

- 子は ① 父母の御給仕 ② 父母の仕事 ③ 家系を立てる ④ 遺産を守る
- ⑤ 父母の死後は施しを為す
- 父母は ① 悪を停めさせる ② 善をなさせる ③ 学問を学ばせる
- ④ 適当しい嫁を娶らせる ⑤ 財産を相続させる 平安にして恐れがない

南 師

- 弟子は ① 座を立ち ② 迎え ③ 給仕し ④ 柔順に供養し ⑤ 謹んで教えを受ける
- 師匠は ① 自ら能く身心を調えたように ② 弟子にも調えさせ
- ③ 自ら得たところを獲させ ④ 全ての学術を正しく説いて教え
- ⑤ 友達の間はその名を聞こゆるようになし諸方に守護をする
- その為五事を以て弟子を愛隣しみ平安にして恐れがない

西 妻子

- 夫は妻に ① 尊敬と ② 礼儀と ③ 貞操と ④ 尊厳と ⑤ 歓喜を与える
- 妻は夫に ① 家庭を守り ② 貞操を守り ③ 財産を守り
- ④ 怠惰なく ⑤ 仕事をこなす

北 友

- ① 布施と ② 愛語と ③ 利行と ④ 同事の四摂事と ⑤ 悪口を言わない

下 同僚

- ① 仕事を与え ② 食事と手当を与え ③ 病あらば看病し
- ④ 珍しいものは分け与え ⑤ 休暇を与える

上 神佛

- ① 慈の身業と ② 慈の口業と ③ 慈の意業と
- ④ 正しい事柄を伝え ⑤ 食事の布施を行う